

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「Instagram」「ライン」に掲載しています。



Instagram



フェイスブック

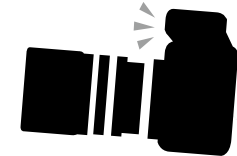


ライン



旬の話題をお届け!
とれたて

いとねぽ



糸満中学校の上原さん 石橋湛山平和賞などで最優秀賞受賞

糸満中学校3年生の上原一路(ひろ)さんが、第9回石橋湛山平和賞最優秀賞受賞などを報告するため、12月9日(水)に市役所を訪れました。

上原さんは、石橋湛山平和賞のほか、自身が小学4年生のころから続ける調査である「真栄里海岸における打ち上げ貝の採集調査Ⅴ」を研究テーマとして出展した第60回沖縄県児童生徒科学作品展で最優秀賞を受賞しています。

糸満市長や教育長ら関係者の前でこれまでの研究発表を行い「自然豊かな沖縄、海人のまちと言われている糸満市で生まれてきたことに誇りをもって、これからも研究を続けていきたいです」と話しました。

受賞の報告を受けて当銘市長は「受賞おめでとうございます。すばらしい賞をたくさん受賞して凄い一言です。高校や次のステージでも頑張ってください。」と話しました。



高嶺中学校の幸地さん 永井隆平和賞で最優秀賞受賞



島根県雲南市教育委員会が主催する「第30回永井隆平和賞」で高嶺中学校3年生の幸地未鈴さんが、中学生の部で最優秀賞を受賞し、その報告をするため、12月3日(木)に市役所を訪れました。

この賞は、原子爆弾により白血病に侵されながらも世界に平和を訴え続けた永井隆博士の精神を受け継ぎ「愛」と「平和」をテーマとした作文を全国から募集したもので、今年度は海外を含む全国から1,170作品の応募がありました。

幸地さんは「受賞報告の際に職員室に呼ばれ、自分がなにかしたのか心配したけど、最優秀賞を受賞したという報告だったのでとても驚きました」と話しました。

受賞の報告を受け当銘市長は「全国から作品が集まるすごい賞で最優秀賞を受賞ということでおめでとうございます。祖母の戦争体験をお母さんから聞いていた中で、今回の作文ができたと思います。このように平和の継承について自分なりにできることを頑張ってください」と話しました。

しまくとぅばの普及に貢献 功労者表彰で宜野座さんが受賞

しまくとぅばの普及に功績のあった個人などを対象に表彰される沖縄県しまくとぅば普及功労者表彰において、糸満市から宜野座嗣郎さんが受賞し、その報告をするため12月9日(水)に市役所を訪れました。

宜野座さんは「受賞の連絡があって大変おどろきました。市や教育委員会に推薦されて大変光栄です」と話しました。

当銘市長は「受賞おめでとうございます。しまくとぅばを継承していくことで、地域の大切な文化や伝統の継承にもつながると思います。今後もしまくとぅばの普及などにご協力ください」と話しました。



食品類を100箱いただきました。 セカンドハーベスト・ジャパンから

セカンドハーベスト・ジャパンの関係者が11月26日、市役所を訪れ、生活応援の一環として支援が必要な人へ食材を無償提供しました。

セカンドハーベスト・ジャパンCEOのマクジルトン・チャールズさんは「行政ができること、民間ができることそれぞれあるので、お互い協力していきたい」と話しました。

当銘市長は「とても素晴らしい活動だと思います。困窮している世帯は増えているので、食料品を有効活用させていただきます。本日はありがとうございました」とお礼を述べました。

陸上県大会100mと走り高跳びの2種目で 兼城小の金城さんが優勝報告

第40回新報児童オリンピック大会の女子100mおよび走高跳の各種目で優勝をした兼城小学校6年生の金城海鈴さんが11月27日、市役所を訪れ、糸満市長ら関係者に大会結果の報告をしました。

金城さんは「目標はオリンピックで100mに出場することです。中学生になっても100mと走高跳に挑戦したいです」と話しました。

報告を受けた当銘市長は「優勝おめでとうございます。夢を高く描いて、糸満から世界にでれるようなすごい選手になってほしい」と激励しました。



沖縄県代表として派遣されます！ 琉球ザウルスから7人が選出

ドッジボールチームの琉球ザウルスから女子選手7人が沖縄県代表として、第7回全日本総合選手権大会に派遣されることが決定し、その報告をするため、11月30日、市役所を訪れました。

チームを代表して光洋小学校5年生の戸井田陽菜さんは「5年生主体のチームだけど頑張るので応援をお願いします」と話しました。

報告を受けた当銘市長は「沖縄代表に7人も選出され、若くてフレッシュなチームということですが、全力で頑張ってください。良い結果報告を待っています」と激励しました。